



ゆうな医療・介護の相談たより

2024年6月号(vol.26)

発行：沖縄県ゆうな協会 医療・介護の相談窓口
電話：098-832-9528
E-mail：iryokaigo@yuunakyokai.jp

医療・介護の相談たよりでは、ゆうな協会の相談に関する取り組みや、医療・介護・福祉に関する制度・サービス、皆さんから寄せられた相談・質問の中で、共通する内容等を守秘義務を遵守し、ご紹介しています。

相談専用のメールアドレスができました！

プライバシーを尊重し個人情報に配慮し、秘密は厳守致します。メールでのご相談もお待ちしています。

『第18回ハンセン病市民学会全国交流集会in北海道』

～北の大地で一人ひとりがハンセン病問題の解決をめざして～

2024年5月11日（土）、12日（日）に札幌市で開催された集会に、ゆうな協会からは、ソーシャルワーカー2人・看護師1人の計3人が参加しました。

分科会Aではハンセン病問題に向けた行政の取り組み、分科会Bでは菊池事件再審請求の現状と課題について、分科会Dではハンセン病問題と教育について活発な論議が交わされました。分科会C「差別の連鎖を断つ」では、旧優生保護法による強制不妊手術、アイヌ民族への差別、障がい者への差別などをハンセン病問題とともに考えました。なお今集会では、2023年度鹿屋大会の映像が、個人を特定できる状態でSNSで流れたことに関連し、会場内の撮影等は厳重に規制されました。回復者や家族からの、学会の姿勢や情報発信方法・管理体制等への厳しい抗議・意見を受け、改めてハンセン病問題の根深さや普及・啓発方法の難しさを感じました。



【国立ハンセン病資料館を見学しました。】



集会に参加した3人で、東京都東村山市にある資料館を初めて訪れました。ハンセン病回復者や家族の相談・支援・ケアを担う専門職として、改めてハンセン病問題を学びなおす目的です。資料や展示を通じ、患者・元患者・家族に対する偏見・差別の歴史、その苦難の体験について考えることができました。



◎給与金現況届の手続きをお手伝いします！

給与金受給者の皆様へ

厚生労働省から「現況届の提出についてのお知らせ」がお手元に届く頃です。ハンセン病療養所退所者（非入所者）給与金現況届に氏名等を記入し、住民票及び所得課税証明書を添えて提出が必要です。夫婦で給与金を受給している場合でも、現況届及び住民票等を一人1通ずつ提出する必要があります。現況届は年に1回ということもあり、書き方などを忘れてしまいがちです。わからないことがありましたら、ゆうな協会でお手伝いしますので、お気軽にお電話ください。

◎「生活支援事業」が始まっています！ご利用ください。

令和5年度から受診や役所等への同行支援や、清掃・買い物等の家事支援を行っています。利用者の声をご紹介します。

・Kさん、独居、70代：足底穿孔症があり、また歩行困難なため、介護保険のヘルパーに浴室の清掃をしてもらっていますが、介護保険では浴室の壁や天井の清掃は対応してもらえず困っていました。ケアマネジャーやサービス事業者との会議で、シャワー場所の壁は清掃してもらえることになりましたが、天井等は認められませんでした。そこで、ゆうな協会の生活支援事業を申請し、生活支援員に気になる所の清掃をしてもらうことができ、清潔で安全な入浴ができるようになりました。

・Tさん、独居、80代：杖歩行で近くのスーパーに総菜や軽い物は買いに行けます。でも重たい物は運ぶことができません。また月に2～3回、別々の病院への受診があり、車の免許を返納してからは、タクシー利用や別居している家族に送迎をお願いしていました。でも家族が対応できない時もあり困っていました。今は生活支援事業を申請し、1ヶ月の買い物や受診の予定を元に、自分でできること、家族に手伝ってもらうことを整理し、対応できないことを生活支援員に依頼しています。家族にも生活があり、すべてを頼ることはできません。家族の負担がないよう生活支援事業できめ細かく対応してもらえたらと思っています。

～車いす貸し出しのご案内及び社用車の配置～

- ・ゆうな協会と相談センター宮古では、車いすの貸し出しを行っておます。旅行や遠出など、単発的に車椅子が必要な際にご利用ください。
- ・また、ゆうな協会に社用車を配置しました。ソーシャルワーカーによる受診時の送迎の際に利用しています。

●今月のピアサポート活動等の紹介：

- ・ハンセン病市民学会第18回総会で、ハンセン病市民学会共同代表（任期2年）に、平良仁雄さんが信任されました。「沖縄県のハンセン病問題への取り組みは、日本全体のハンセン病問題の解決に繋がる！」という平良さんの思いを、具体的な活動にしていきたいものです。
- ・八重山では以前、宮古南静園を退所した方々の集まりがありましたが、コロナ下の影響もあり、現在はお休みしているとのこと。お互いに「何処に誰が住んでいるかわからない」と話される方が多いのですが、時々、電話を掛け合い健康状態を確認し合ったり、街中でバッタリ出会うたりされているようです。いろいろな想いや考えがありますが、今ここで暮らす仲間として、気兼ねなくお話ができる場所と時間をぜひ再開できたらと思います。

